

研究課題名	当院救命救急センターを受診する外国人患者の医療ニーズと入院リスク：在日・訪日別の後方視的研究
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 救急科
研究責任者(職名)	青木 義紘 (医師)
研究期間	承認日 ～ 2027 年 09 月 30 日
研究目的と意義	この研究は、2013～2025 年に当院救急外来を受診した外国籍の方の受診状況をもとに入院と関連する要因を確認、在日と訪日で比べて整理します。結果を通訳・保険支援や入院の判断の改善に生かし、必要な医療をより受けやすくする体制づくりに役立てます。
研究内容	●対象となる患者さん
	2013 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日に、当院救急外来を受診した外国籍の方（日本在住の方・訪日中の方のどちらも含みます）。
	●利用する情報
	利用する情報 <ul style="list-style-type: none"> 診療録にある既存の情報のみを使います。追加の採血・検査やご連絡は行いません。 氏名・住所・連絡先など個人を特定できる情報は使用せず、研究用 ID に置き換えて扱います。
	具体例（主な項目） <ul style="list-style-type: none"> 国籍、在日／訪日の区分、年齢・性別 来院日・時間、来院方法（救急車／自力）、通訳利用の有無、保険種別 受診理由（主訴）、初療のバイタルサイン、重症度（JTAS など） 検査・画像・処置・投薬の実施状況 診断名、帰宅／入院／ICU などの転帰、救急外来での滞在時間 72 時間・7 日・30 日の再受診の有無（当院での受診分） 医療資源の利用状況や費用に関する個人が特定されない集計情報
	●研究方法
問い合わせ先	上記の情報をカルテより収集し、下記について検討します。 <ul style="list-style-type: none"> 入院の必要性に関わる要因（年齢や症状の強さ、来院方法など） 外来で治療が完了する方の特徴 医療ニーズの時間的な変化（受診件数や検査・処置の傾向、COVID-19 前後を含む）
	所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター
	住所：長崎市新地町 6 番 3 9 号
	電話：095（822）3251 （内線 3553）
	受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）